くまとり世間遺産（せけんいさん）

ガイドブック



令和8年度認定分掲載

43遺産をご紹介

世間 くまとり 遺産

『くまとり世間遺産』って何？

世界遺産や指定文化財ほどではないが、私たちの身近な場所にもまだまだ遺産として残した珍しいもの、その地域にしかない希少なものなどがたくさんあります。それが「世間遺産」です。

熊取町にも重要文化財の中家住宅、降井家書院をはじめ、長池オアシス（ため池百選）、永楽ダム（水源の森百選）、奥山雨山自然公園（大阪みどりの百選）の桜など多くの観光スポットがあります。

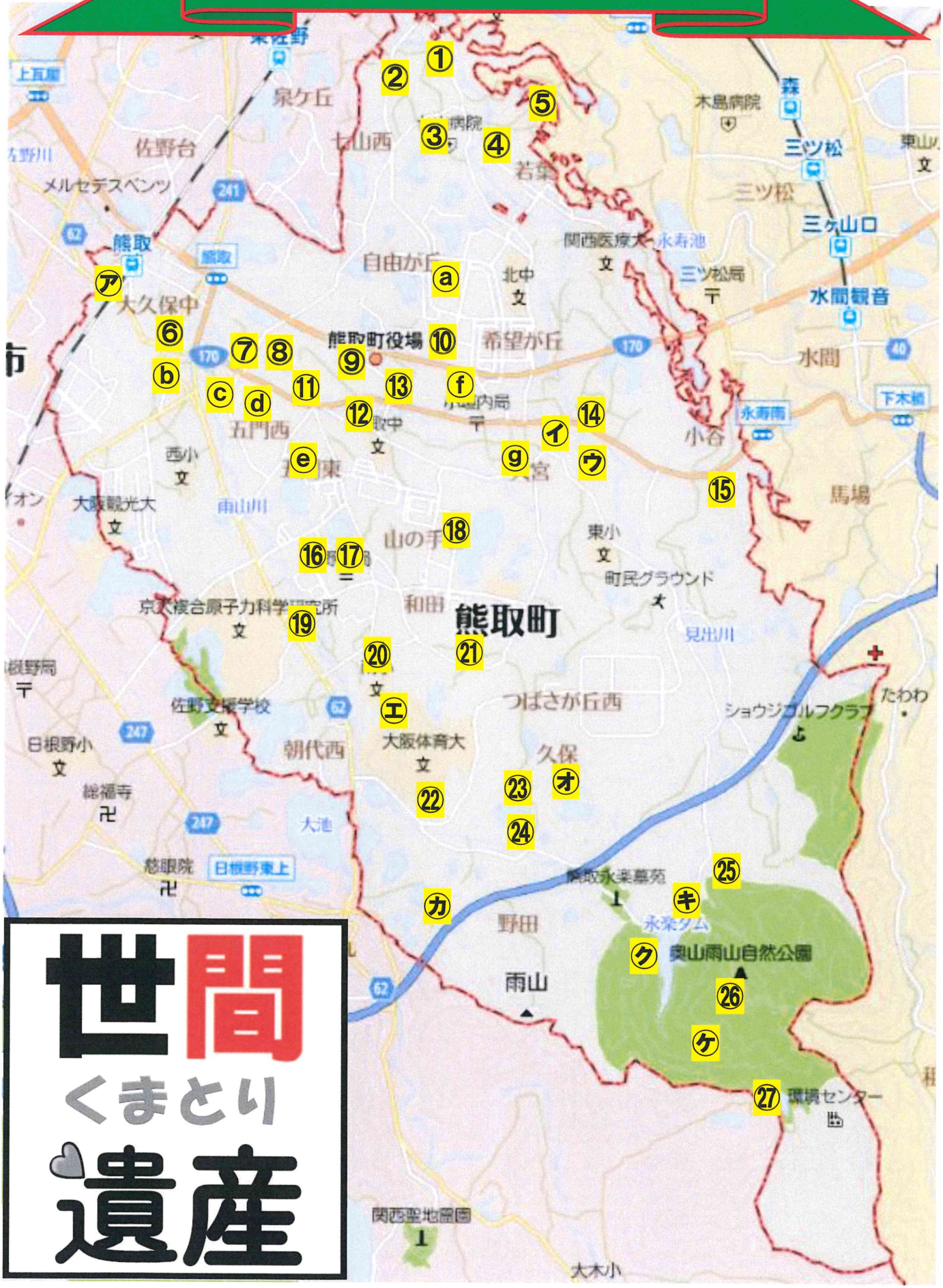
しかし、町内にはホームページに紹介されていないが、人に薦めたい、とっておきの人やもの、風景があります。また、住人には当たり前の風景が、町外の方には珍しい唯一無二のものである場合もあります。

今回、それらの「世間遺産」を集め、『くまとり世間遺産』と命名し、熊取町の財産として受け継いでいきます。

熊取町の中にある、いわゆる名所・旧跡ではないが
思わず人に伝えたくなる　人・もの・風景
後世まで残したいと思う　人・もの・風景
子供達に残しておきたい　人・もの・風景

一般社団法人
くまとりにぎわい観光協会

くまとり世間遺産マップ



世間 くまとり 遺産

【も　の】

①	手書き七山青年団の法被
②	郷土力士「武蔵野」の墓
③	爽神堂のお寺
④	見出川の一枚岩
⑤	幻の「紀泉鉄道」アーチ橋跡
⑥	腕野商店
⑦	熊取交流センター煉瓦館の鉄扉
⑧	煉瓦館の黒板
⑨	二千六百年祭の碑
⑩	熊取図書館のピアノ
⑪	五門のお地蔵さん
⑫	熊取村道標元票
⑬	中央小学校の表彰盆　令和8年度認定
⑭	現存する国内最古の鉄道橋「大宮橋」
⑮	辻ノ井
⑯	長池オアシスでできた新種の蓮「長池妃連」
⑰	江戸時代の高僧愚白禅師の「愚白蓮」
⑱	まれくす堂
⑲	京都大学複合原子力科学研究所の建造物
⑳	朝代区の地車　令和8年度認定
㉑	大師　のぼり旗
㉒	成合寺　釈迦如来
㉓	和田山 Berry Park
㉔	今も残る茅葺屋根の家
㉕	菅原神社跡
㉖	稜線沿いの駐車禁止
㉗	池守明神と永楽池四か条

【風　景】

㋐	雨山踊りの風景
㋑	だんじり祭りの宮入風景
㋒	大宮の水路
㋓	熊取の棚田～成合・和田～
㋔	成合付近から望む夕方の田園風景
㋕	和田山山頂からの絶景
㋖	ホタルを育む上高田
㋗	「やっほ～」ポイント
㋘	一ノ滝、二ノ滝
	【ひ　と】
ⓐ	切り文字作家　じょじょすけ
ⓑ	音頭取り　阪上知子
ⓒ	藍染め　わたっ子クラブ
ⓓ	木彫　松田（松田修一師）　令和8年度認定
ⓔ	タイポグラフィによる版画作家　文字で描く「東海道五十三次」文字風景
ⓕ	宇賀一仁
ⓖ	横山音頭の音頭取り　河合良一

くまとり世間遺産募集【もの】

①手書き七山青年団の法被

熊取町七山北　山中弘宗様宅





昭和４０年代にだんじり祭りで
使用されていた（おそらく）初代
のネーム入り法被

②郷土力士「武蔵野」の墓

熊取町七山３-１１０９　三ケ字墓地





明治時代から大正時代にかけて活躍した大阪相撲の力士。本名は辻岡松之助、朝日山部屋所属。明治３３年に松嵐松之助として初土俵を踏み、その後何度も四股名を変えながら相撲人生を送る。最高位は貧乏神（十両筆頭）まで昇進し対象５年に引退後、若者頭として大阪相撲が東京都合併するまで務め、真面目な仕事の出来る人物として慕われた。引退時の四股名が武蔵野。昭和２０年に亡くなり、この石碑は昭和２４年に有志によって建てられた。

③爽神堂のお寺

熊取町七山 2-2-1







1573 年（天正元年）に本多十助が七山の地に浄仙坊を開創。織田信長によって焼き払われた後、十助の子、本多左内（法名：義風）が寺号を浄見寺として再興。境内に現在の七山病院の前身、医療施設「爽神堂」を創設した。江戸時代には、入院施設を備え、漢方や針灸を用いて精神障がい者の治療を行っていました。明治維新に際し、西洋医学を率先して導入、わが国最初の精神科専門の病院免許を取得しました。

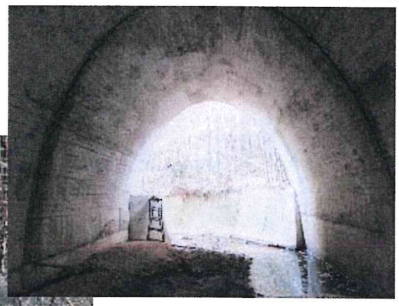
④見出川の一枚岩



熊取町七山東８４７付近

見出川は、熊取町の南の雨山奥山自然公園付近の丘陵に発し、中流以降は貝塚市と熊取町の境を流れ、貝塚市と泉佐野市の境で大阪湾に注ぐ、全長約１２㎞の川で上流、永楽ダム付近では、夏にゲンジボタルが飛び交い、多くの方が訪れます。
谷川橋下にある、長さ約 30m、幅約 7～8mの巨大な一枚岩

⑤幻の「紀泉鉄道」アーチ橋跡





熊取町七山北

貝塚市清児駅から和歌山県粉河町（現　紀ノ川市）を結ぶ予定だった幻の紀泉鉄道。
残念ながら開通には至りませんでしたが、そのアーチ橋跡が今も残っています。また近くには、見出川を跨ぐ水道橋も残されています。

⑥脇野商店

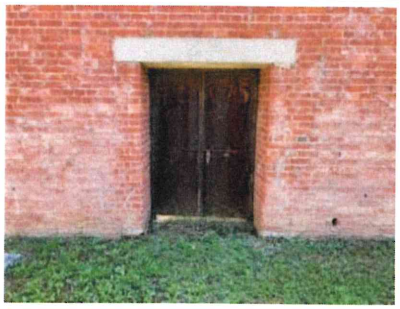




熊取町大久保中 2-5-2

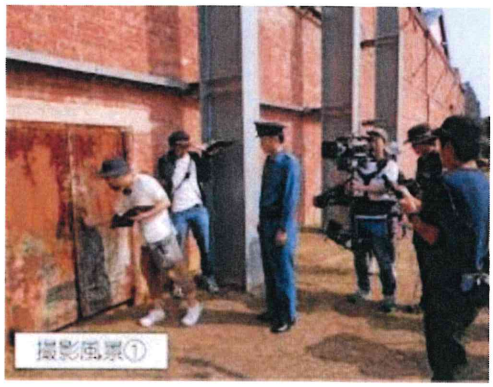
古くから熊取の日用雑貨物流を担って、現在もお客様からの依頼に合わせた商品のお届けを続けておられる。
店構えが懐かしの映画の一コマの様で心温まるたたずまいである。店の角にはこちらも昔懐かしい丸ポストあり！ちょっとした撮影スポットになっている。
秋のだんじり祭では「大久保東交差点のやりまわし」が店の前という立地で、地車とのフォト相性も最高である。いつまでもこのレトロな風景が残ってくれることを祈りたい。

⑦熊取交流センター　すまいるズ　煉瓦館の鉄扉

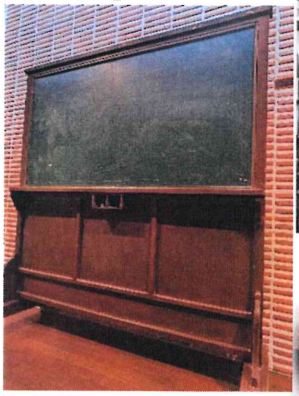


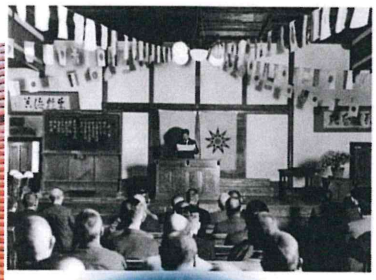
熊取町五門西 1-10-1

渋谷すばる・二階堂ふみ主演の映画「味園ユニバース」（製作年：2015 年　山下淳弘監督）の１シーンとして、熊取町の煉瓦館がロケ地として選ばれ、映画ファンの記憶に残る名シーンが撮影され、この映画を通して、全国的に熊取町がＰＲされた。
この映画にとって中心的な名シーンとなっているオープニングの刑務所のシーンにおいて、煉瓦館の鉄扉が使われたもので、本町における映画のロケ地として推薦。



⑧熊取交流センター　すまいるズ　煉瓦館の黒板







熊取町五門西 1-10-1

この黒板は、熊取町の歴史にとって極めて重要な意味を持つ貴重な文化遺産です。
昭和 26 年（1951 年）11 月３日、熊取町が村制から町制へと変更された記念すべき日に、熊取小学校（現・熊取中央小学校）講堂で開催された町制施行記念式典において使用されたものであり、当時の式次第と思われるものが記載されてる写真があります。

⑨二千六百年祭の碑



熊取町野田２-１０

皇紀とは、明治政府が定めた日本独自の紀元（きげん＝歴史上の年数を数える出発点となる年。紀年法で、１８７２（明治５）年に明治政府が、神武(じんむ)天皇が即位した年を記紀（古事記と日本書紀）の記載から西暦紀元前６６０年と決め、その年を皇紀元年とした。
１９４０年（昭和１５年）は皇紀２６００年に当たるとして，橿原神宮・神武天皇陵の整備や奉祝の行事が行われたが、日

中戦争の戦時下であり、国民の生活は苦しくなりかけていた。しかし各地の神社の境内や公園などには 2600 年記念碑や国旗掲揚塔を建てた。
ここ熊取にもこの記念碑が野田地区に存在します。

⑩熊取図書館のピアノ

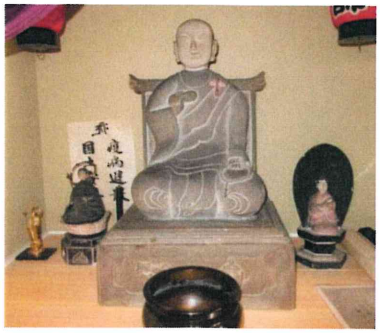


熊取町野田 4-2714-1

世界的に有名な「グロトリアン・シュタインヴェッヒ社」（ドイツ）の製作で、昭和４年に、旧熊取尋常高等小学校の講堂落成を祝い、当時熊取村の村長であった義本一氏から寄贈された、日本では数少ないピアノです。

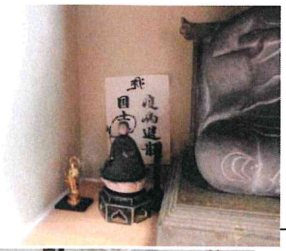
長年小学校の行事などで活躍するも昭和４３年に傷みにより使用されなくなり、その後は、忘れられた存在として中央小学校の倉庫で眠っていましたが、20 年以上の時を経て、平成３年に熊取町町制施行４０周年記念事業の一環として復元され、平成６年に開館した図書館のホールに設置されました。
このピアノの特徴である中高音の澄んだ音色が美しく響くよう、大きさや内装が設計された図書館ホールにおいて、現在もコンサートなどで、その素晴らしい音色を聴かせてくれています。

⑪五門のお地蔵さん



熊取町五門西１丁目

五門区において新大師講で長年にわたりお祀りされてきたお地蔵さまは、左官職人・高田松太郎氏によって精微に造立されたものであり、「法の山　新に祀る　大師堂　いずれの人もたす賜えば」との銘とともに、信仰されてきました。
その言葉には、地域の人々の安寧を願い、世代を超えて助け合いの心を伝えようとする強い祈りが込められています。
本お地蔵さまは、熊取の人々の信仰心と職人技の結晶であり、また地域社会の絆を象徴する貴重な存在です。
地域文化の歴史を今に伝える世間遺産として、広く後世に残すもの。



⑫熊取町道路元標



熊取町野田１－１

道路元標は道路の起点・終点を表す柱で大正８年に旧道路法が制定され、各市町村に１個設置されることとされました。

熊取の場合は、昭和４年に熊取村役場前に設置された。正面に「熊取村道路元標」、裏面に「昭和四年十一月建之」と刻字されています。大阪府内には岸和田市に１個を数えるのみです。
道路元標が建てられた場所は、当時の熊取の中心を示すものであることから、熊取の歴史を知る上で貴重な資料となっています。





⑬中央小学校の表彰盆

熊取町野田２丁目

令和8年度認定



熊取村では１９０８年４月に今まであった４つの尋常小学校を統合し、村全域を校区とする泉南郡熊取尋常高等小学校を設置、１９１１年５月１１日に現在地の新校舎に移転。その後熊取町の町政施行により１９５１年１１月３日に熊取町立小学校へと改称した。１９６０年第後半に町の住宅化が進み児童数も増加、１９７５年西小学校、南小学校が開校し、これにより従来の熊取小学校は現在の校名・熊取町立中央小学校と改称した。
現在でも使用している表彰盆は、町内に小学校が１校しかなかった時代のもので、「中央」の文字がない貴重なもの。

⑭現存する国内最古の鉄道橋　大宮橋

熊取町大宮１丁目



国道１７０号線で見出川にかかる大宮橋は、昭和６年に架かる橋。今年、この橋が約１５０年前に大阪―神戸間にかけられた、日本で最初の鉄道橋の部材を転用したものと２０２５年６月、土木学会関西支部で発表された。
当時、大阪―神戸間の鉄道で建設された「武庫川橋」や「下十三川橋」などでは、鉄道橋として初めて鉄材が使われた。このうち、下十三川橋の一部が、大阪市の「浜中津橋」に転用されたことが知られていたが、２０２２年に撤去されていた。
大宮橋は長さ２１・６メートル、幅６メートル。１８年頃、「大宮橋にも転用されたのでは」との情報提供があり、同支部の助成を受けた研究グループが、大宮橋と浜中津橋の鉄材を分析。その結果、マンガンやリンなどの含有量の特徴が共通しており、大宮橋に使われている鉄材も、浜中津橋と同様に転用されたものだと認定した。



⑮辻ノ井

熊取町小谷南 3-9-40
興蔵寺内





弘法大師の痕跡は多々ありますが、この井戸はちょっとありがたさが違う！
のどが渇いた弘法大師が村人からもらった水に感謝して、地面を杖で突いたところ、そこから水が湧き出したという言い伝えがある有難い井戸。今まで枯れたことがないといわれています。



⑯長池オアシスでできた新種の蓮

長池妃蓮





熊取町長池３

整備当初、長池オアシスの水生植物体には二種類の蓮、舞妃蓮と漁山紅蓮が植えられていました。この二つが自然交配し、新種の蓮ができました。
全体的に丸みを帯びた濃いピンクの花びらで、三日目には退色してクリーム色となります。
2012 年京都花蓮研究会の金子明雄先生に命名してもらいました。鉢では花が咲かず、現在長池オアシスの水生植物帯でしか花を見ることができません。
伝統的な親である舞妃蓮は、アメリカの黄花ハス「王子蓮」と日本の「大賀蓮」を交配して作り出した品種ですので、長池妃蓮は大賀蓮の孫ということになります。長池オアシスでしか見ることのできない貴重な花蓮であるため、毎年町外からも多くの人が長池オアシスを訪れています。





⑰江戸時代の高僧　雲山愚白禅師の愚白蓮





熊取町長池３

熊取町の文化人であった中盛彬が書いた地域の見聞録「拾遺泉州志（かりそめのひとりごと）」、に江戸時代前期に熊取にいた高僧雲山愚白禅師にまつわる話があります。このことにちなみ愚白禅師生誕400年を記念して、2019年に昔から熊取に咲いていた地元の白蓮を愚白蓮（ぐはくれん）と命名しました。



文献によると愚白禅師は当時の名だたる高僧のうちの一人であり、日本中から禅師の講話を聴くために、多くの僧が熊取を訪れたとあります。地元の偉人を顕彰することにより、地元の歴史や文化への関心を高め、郷土愛を育むことに繋がると思いました。

⑱まれくす堂

熊取町南山の手台23





くまとり写真館
（昭和10年頃）
熊取町ホームページ

中盛彬の著書「かりそめのひとりごと」にまれくす長者の話があり、江戸時代（天保年間）にその古い言い伝えがわかる、お堂と地蔵。和田区の人々により伝統的にお参り、保存がされています。
痛みを止め、子授けのご利益があるとして信仰され、地域の人々は赤ん坊が生まれるとまず、まれくす堂にお参りをしたといいます。

⑲京都大学複合原子力科学研究所の建築物



熊取町朝代西２丁目



熊取町変革期の１９６３年に設置され、我々には花見の名所として親しみのある施設。
その建築設計、実は「東の丹下、西の増田」と評される増田智也氏。特に府道６３号沿いに建つ建築は、シェル構造の折れ屋根が浮くコンパクトで美しい造形デザイン。我が町の風景として残していきたい。

⑳朝代区の地車

熊取町朝代

令和8年度認定



大正 11 年に新調される。熊取町の区が自ら新調した地車の中で２番目に古い歴史がある。特徴は、当村出身の大工朝代市松が棟梁となった記念に村を揚げて制作依頼をした市松の地車であること。これまで２回の大修理を昭和 56 年と平成 10 年に行ったのち、令和５年新調論もある中、村出身の大工作である地車を守り曳いていこうと三度目の修理を終えた。この誇りある地車を後世に語り継いでいきたく世間遺産に推薦する。

㉑大師　のぼり旗

熊取町和田 5-3548-7（和田区公民館内）



毎年春の大師講の日には、村内の観音講の人々が念仏を唱え、接待としてお参りした子どもたちにお菓子が配られ、それが一年の楽しみでもありました。現在、婦人会や隣組の人々が「業」を受け継いで、当日は旗のもとで念仏し、粛々とすすめられております。現存するこの旗は、サイズ約４０㎝×３m弱と見あげるほど、大きなものです。旗には、「奉献　杖大師　和田村観音講中」と書かれています。明記「和田村」は、久保村の枝郷として岸和田藩領内にあって、明治 22 年(1889 年)久保村を含めた８ヶ村が合併して、熊取村が成立するまで、同村があったことから、少なくともこの旗は、１００年以上前のものであることが推測されます。主催の「観音講」は、「大峯講」や「伊勢講」らとともに、村民の親睦融和を図る集まりで、昭和 40 年代初めまで続いておりました。
この旗(大師講)の歴史が地車祭より古いことと時代の移り変わりを見届けてきたことが感慨深い。また現在の核家族、少子高齢化で区内の行事が途絶えるなかで、大師講が廃れることなく後世までに続いていくことを願いたいものです。

㉒成合寺　釈迦如来

熊取町大字野田



火災で焼失してしまったと思っていた成合寺。
本堂はありませんが地元消防団に
よりご本尊様の釈迦如来像は助けられ、小さな祠の中に保存さ

れています。とても美しい釈迦如来像で思わず手を合わせました。



㉓和田山 Berry Park

熊取町久保 3162





ラビットアイ系のブルーベリー農園で、夏場には、ブルーベリー狩りが満喫できます。
熊取町ブランド認定品「くまとりやもん♪」にも認定され、いろいろなスイーツの材料にも使っていただけるようになりました。
第３農園まで広がり、泉州一の観光農園となりました。

㉔今も残る茅葺屋根の家

熊取町成合東 184





熊取町成合東、西方寺の近くに今でも残る茅葺屋根の家。敷地内に別棟があります。茅葺屋根の家は真夏でもエアコンがなくても涼しく、快適に過ごせると言われています。ぜひいつまでも残していて欲しい建造物です。

㉕菅原神社跡

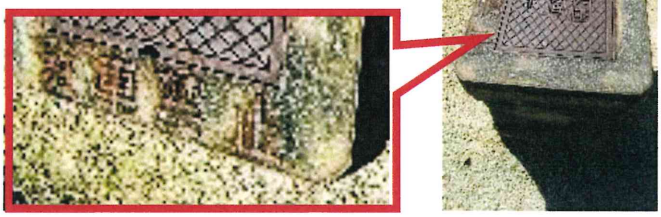
熊取町高田



明治時代に大森神社に合祀された神社のひとつである「菅原神社」は跡地しか残っていませんが、祭殿がなくなってぽっかりと空いたその地は、今もひっそりと木々に囲まれています。その場に立つと神仏がおわした頃のまま凛とした空気を発しているのを感じます。残念ながら、同時期に合祀された金堂神社の跡地や牛神社は

今では場所の確認ができないそうです。

㉖稜線沿いの駐車禁止



奥山雨山自然公園内

奥山雨山自然公園のハイキングコース、稜線沿いに歩くと消火栓があります。よく見ると車も通れないのに「駐車禁止」の文字が入っています
テレビアサヒの「なにこれ珍百景」にも紹介されました。

㉗池守明神と永楽池四か条



奥山雨山自然公園内
昔の面影を残す自然豊かな地域で奥山雨山自然公園の奥に位置します。
永楽ダムの水源である永楽池を造った際に地蔵様を祀って池の安泰を願いました（池守明神）。
そして先人たちによって「永楽池四か条」が発せられ、皆が争わず大切な水を共有するよう、牛神座など共同で農作業に当たったそうです





熊取町の中にある、いわゆる名所・旧跡ではないが
思わず人に伝えたくなる　人・もの・風景
後世まで残したいと思う　人・もの・風景
子供達に残しておきたい　人・もの・風景

世間 くまとり 遺産

くまとり世間遺産募集【風景】

㋐雨山踊り






熊取町大久保西

現在は廃絶されてしまった「雨山踊り」の大久保区の記念写真が見つかった。
雨山踊りとは泉州地方の「太鼓踊り」の一種で雨山神社に雨乞い祈願として奉納された踊りで、出発前の子どもたちの少し緊張した表情と七夕飾りが記憶をよみがえらせてくれる。どこの家で撮影したのだろう…この点は思い起こすことができないのが残念。昭和 17～18 年当時の様子をぜひ後世に残したいと願い推薦する。

㋑だんじり祭りの宮入風景




熊取町大宮１丁目１１－１８　大森神社

各地区の地車１１台が順次、神社境内の中央舞台の周りを２回と半周回した後に、宮司のお祓いを受けます。
上手に走り終えると詰めかけた見物客から拍手が送られます。お祓いを受けた後境内の指定場所に待機して、全台が揃ったところで、一斉に鳴り物披露を行い境内から順次退場し、町内へと繰り出します。
境内の舞台を中心に二週半走る宮入は、他では見られない熊取町独自の風景です。

㋒大害の水路



熊取町大宮

大森神社の奥に昔ながらの水路が残っている地区があります。
染物も盛んだった当地区。この水路の路地を水源に向かって歩いて行くと熊取自慢のお米を育てる田んぼが広がっています。

㊓熊取の棚田～成合・和田～



熊取町成合・和田

成合区
雨山城址に向かい阪和道に沿って歩いて行くと、昔ながらのため池がはぐくむ棚田が眼下に広がっています。雨山山頂からの眺めとは違い自然の豊かさを感じる風景です。
和田区
住宅地の間に残る熊取自慢の棚田。先祖代々の農地が今も大切に守られ豊かな実りの風景を見せてくれています。



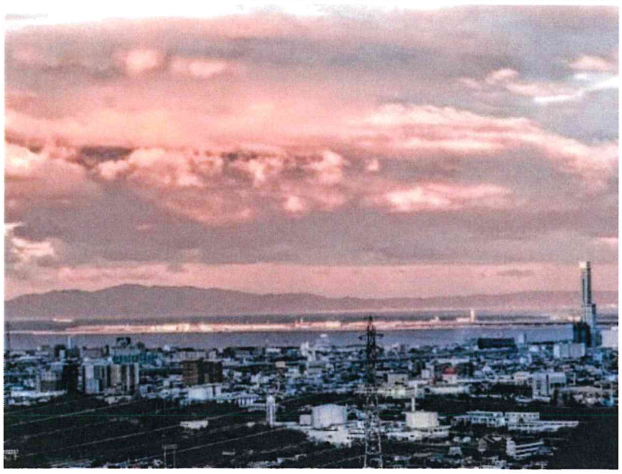
㊔成合口付近から望む夕方の田園風景



熊取町成合

昭和時代を今も残す風景で、熊取に引っ越してきていつも感動した場所です。

㊕和田山山頂からの絶景



熊取町久保 3162

朝日を受けて光り輝く関西国際空港、夕日を浴びた茅渟の海、見ておきたいあべのハルカス、雄大な葛城山系、そして私たちの町熊取の街並みが手に取るように見ることができる。なんてお得な景色のオンパレードか！３６０度の絶景をご覧ください。和田山のふもとにある野外活動ふれあい広場から 10 分程で頂上に登れるので、いつでも気軽に感動がもらえる「熊取の超絶絶景ポイント」です。

㊖ホタルを育む上高田



熊取町高田

旧街道の名残が里山の縁に今も残っている上高田には、住民の方々のくらしがあります。そしてゲンジボタルを育む豊か

な自然が今も溢れています。田んぼを潤す見出川に山から流れ込む湧き水の源にはプラナリアがいます。このゆったりとした静かな農村風景が、熊取の誇りだと感じます。



プラナリア：きれいな環境さえあれば生きる川や池など淡水にすむ生物

㋗「やっほ～」ポイント



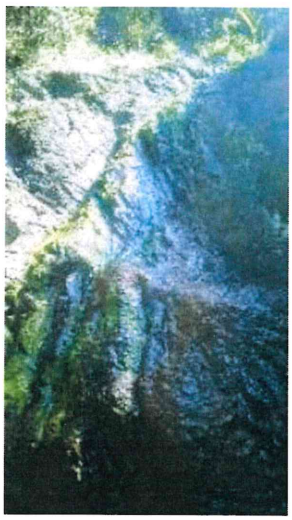
熊取町久保

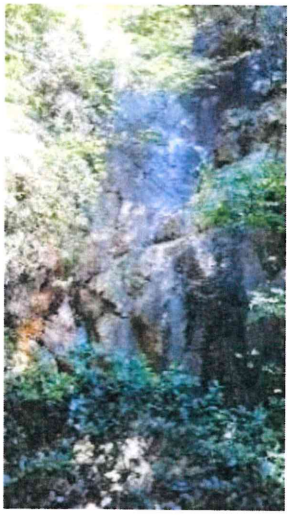


春は桜の名所として多くの方が訪れる永楽ダム。トリムコーススタートから２００mの地点でダムに向かって「やっほ～」と叫んでみてください。やまびこならぬ「ダムびこ」、声がこだまするポイントがあります。子どもはもちろん、大人も童心に返り大きな声を出してリフレッシュしてみませんか！

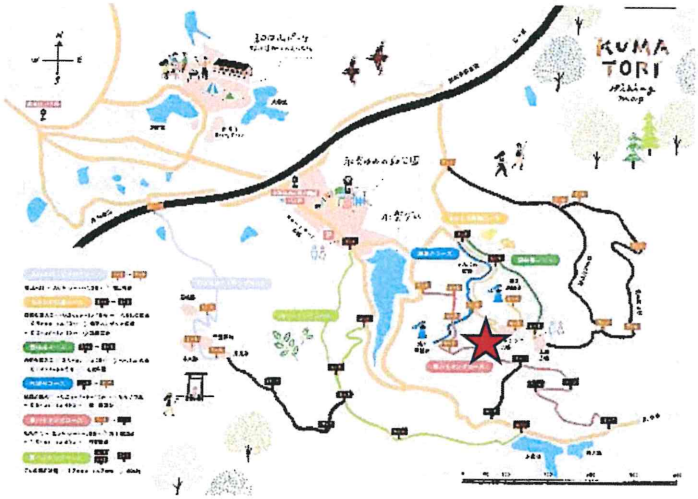
㋘一ノ滝・二ノ滝

奥山雨山自然公園内





奥山雨山自然公園の「東ハイキングコース」にある、一ノ滝、二ノ滝。
夏の酷暑の時にも水が枯れずに流れています。



くまとり世間遺産募集【ひと】

ⓐ切り文字作家　じょじょすけ





熊取町自由が丘

2015年名古屋で開催された「名前サミット」でデビュー後、各地のイベントやマルシェへの出店や、体験教室、ショー形式のパーフォーマンスを行い活躍。
パリで開催されたJapan　Expo 2019にも出演。ハサミで文字を繋げて切る、切り文字作家。熊取町の観光大使にも就任されています。

ⓑ音頭取り　阪上知子





熊取町大久保中

女性の音頭取りはあまり多くありませんが、阪上さんは「くまとり世間遺産」に認定されている横山音頭の音頭取り、河合一良さんの一番弟子。
　伝承文化の継承を担い、お盆には大久保の盆踊り会場で音頭を取っています。

ⓒ藍染　わたっ子クラブ





熊取町五門西1-10-1　すまいるズ 煉瓦館内

昔、藍染の染物屋（紺屋）さんがたくさんあったということで、紺屋という地区名になったといわれている。
藍染とその原料の藍を守り続けてくれている、わたっ子クラブの人々。
毎年６月中旬から１０月中旬まで、布をビー玉や割り箸を使ってさまざまな模様に染める体験ができます。

ⓓ木彫（もくちょう）　松田（松田修一師）

熊取町紺屋

令和8年度認定



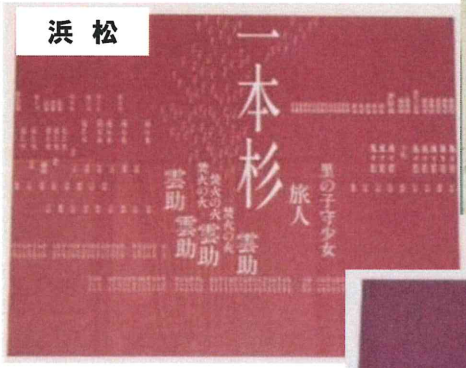
松田修一氏は、熊取町唯一の地車彫刻師として活動し、１８歳から貝塚市の「木彫山本」で修業を積み、伝統技術を継承してきました。令和３年に熊取町で独立後は、熊取町紺屋地区だいんじり大修復で彫刻責任者を務めたり、七山区の祭礼に参加し、大修復の際も彫刻を手掛け、地域の祭礼文化を支えています。また、熊取町ふるさと納税返礼品として木彫表札を製作するなど、伝統技術の魅力を広く発信しています。熊取町の貴重な伝統文化を未来へ受け継ぐ存在として、世間遺産にふさわしい人物であると考え、推薦します。

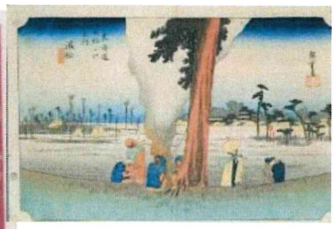


ⓔタイポグラフィによる版画作品　文字で描く「東海道五十三次」文字風景

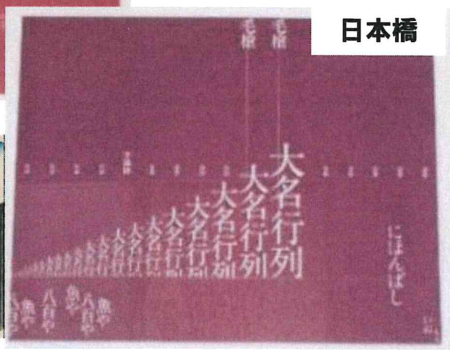
熊取町五門西　信貴　奨（すすむ）

グラフィックデザイナーとして主にシンボルマーク、ロゴタイプデザイン、パッケージデザインの制作活動。「広重の東海道五十三次」文字風景を１９８４年発表。‘８５年「東京展」、’８７年「大阪展」と発表。１９９１年にはタイポグラフィ作品を高く評価され大阪公告協会より「サントリー奨励賞」を受賞。









ⓕコーヒーのスペシャリスト　宇賀　一仁

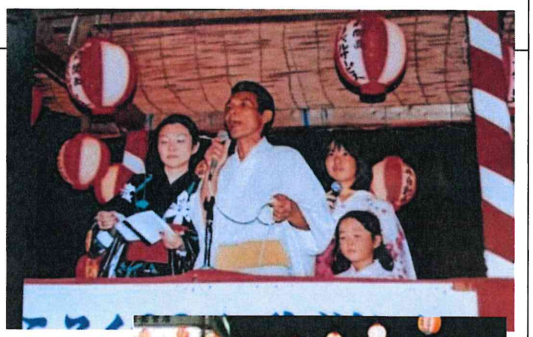
熊取町野田 1-5-5
BEARCOFFEE 店主
フレッシュで薫り高いコーヒーを美味しく頂ける理由がこちら！
CQI 認定 Q アラビカグレーダーを取得。
唯一の国際的なコーヒー鑑定士の資格で、スペシャルティコー



ヒー協会が定めた基準・手順に則って、珈琲の評価ができることを認定された技術者に与えられる。９科目 22 試験をすべて合格しなければならないという難関を突破した資格保有者は世界で約 7,000 人あるが、日本には約 300 人しかいない。資格保有率は世界のコーヒー従事者のわずか 0.016%で、取得するにはコーヒーに関する高度な技術・知識を要求される。
認定継続されないこの資格は、有効期限が切れる前に資格継続のために改めて受験し合格しなければならない決まりで、常に技術の維持・向上されています。また、資格取得によりコーヒー豆の仕入れの際はもちろん、焙煎したコーヒーの評価も主観的ではなく客観的な評価ができるため、高品質で美味しいコーヒーが提供できると認められています



横山音頭の音頭取り　河合一良





熊取町大宮
熊取町内の盆踊りにはなくてはならない人。
伝承文化の継承を担って、ご家族で音頭取りから囃子までお一人お一人に伝えておられる河合さん。熊取町以外の地域からも音頭の依頼を受けておられ、毎年開催される泉佐野市新川家での催しでも活躍されている。熊取町公民館講座でも毎年「伝承横山音頭講座」を開講され、受講生の方が町民文化祭では受講の成果を披露され、お弟子さんもたくさん輩出している。
日本文化の代表「畳」河合畳店の店主でもあり、３５歳からは全関西郷土民謡協会の理事も務めておられ、公民館クラブでも民謡ファンを育成。泉州の文化伝承の懐刀的存在である。

日本各地の『世間遺産』

愛知県常滑市

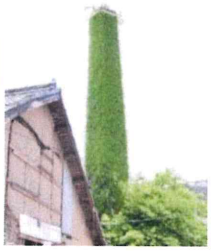
■ ロケット燃料パイプ

焼物は茶色だが、各所で白いパイプや甕容器の焼物を見かける。これはなんと戦争末期のロケット燃料容器！日本発のロケット戦闘機[秋水]の燃料のために作られた。



■ 緑の煙突

焼き物の街には煙突がつきもの。その中でもさらにレアで貴重なものは、緑の煙突。
つたにからまれて美しい街の景色を見守っている。





1.遺跡風窯跡　地区　北条
家の改築で、遺跡風煉瓦造りの窯が露呈した。全景が見えるとすばらしい。

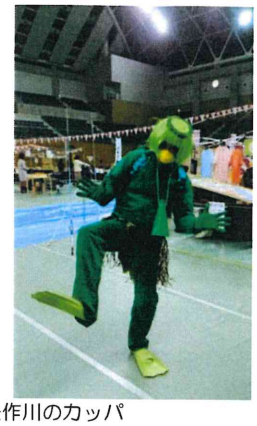


17.戦艦型住居　地区　小鈴谷
ここを通ると誰もがびっくり。戦艦の形をした建物です。

愛知県豊田市



豊田市を拠点に全国各地の学校や自治体などで、生の舞台から記憶に残る笑いと感動をお届けし、社会的な話題で新喜劇を全国にお届けするお笑い劇団。



矢作川のカッパ
豊田市を流れる矢作川に関する行事に出没するカッパ。主に陸地で活動している。「着ぐるみ」的ではなく生身に近い。

狩人＆料理人　清水潤子
女性ハンターという側面だけでなく獲った様々な対象を自ら料理し提供する店を出します。獣害を避けるために駆除しなければならない命を無駄にしない活動を展開しています。



駅下にぎわい館

一般社団法人くまとりにぎわい観光協会が運営している熊取駅前観光案内所『駅下にぎわい館』では、レンタサイクル（メジちゃり）貸出や手荷物一時預かり、熊取の朝採れ野菜・特産品の販売を行っています。

【運営時間】
水曜日～日曜日・祝日　９：００～１７：００
☎　０７２（４５１）２５７２



くまとりにぎわい観光協会　会員募集

熊取町に興味のある方、もっと知りたい方、熊取町の魅力を発信し、一緒に盛り上げていきませんか。

こんな活動をしています！

★イベントの企画・運営
- 熊取方言カルタ大会
- 観光ボランティア養成講座
- くまピア
- 南泉州リレーウォーク in 熊取
- だんじり曳行体験ツアー

★駅下にぎわい館運営

一般社団法人
くまとりにぎわい観光協会